

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事業 体系	計画コード	事業名	部名	生活文化部
	17056	かめやま文化年事業	課名	文化スポーツ課 文化共生G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務	会計
	基本施策	06:文化芸術の振興と文化交流の促進	科目	10:教育費
	施策の方向	02:文化交流の促進	項目	05:社会教育費
	戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト	目	07:文化振興費
事業予定期間		H 25 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等	

目的 概要	対象	市民、本市に関わるすべての人
	目的	亀山市文化振興ビジョンに基づき、「市民の文化力の向上」「地域間交流の促進」「団体間の連携拡大」「新しい文化の創造」を目的として、3年に1度さまざまな文化に関する取り組みを集中して開催する「かめやま文化年」を実施する。 【かめやま文化年2020】 令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年間)
	概要	「かめやま文化年2020」では、「かがやく」をキーワードとして、これまで培ってきた文化に、さらなる創意工夫等を図り、文化資源の価値をさらに高めるとともに、参加する人等が自己実現により満足感や達成感を感じ、生き生きと輝ける事業を展開する。 かめやま文化年プロジェクトの集大成となるかめやま文化年2020で、亀山市の文化を市内外へ発信する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度計画	かめやま文化年2020実施計画の策定		かめやま文化年2020の開催	かめやま文化年2020の検証
	かめやま文化年2020実施事業の決定 かめやま文化年2020プレ事業の実施 かめやま文化年プロジェクト推進委員会及び実行委員会の開催		かめやま文化年プロジェクト推進委員会及び実行委員会の開催	かめやま文化年2020記念誌の作成 かめやま文化年プロジェクト推進委員会の開催
年度実績	かめやま文化年2020実施計画を策定 ・R1.12策定(テーマ:かがやく) かめやま文化年2020実施事業を決定 ・実行委員会主体8事業、市民団体主体20事業、市関係13事業 かめやま文化年2020プレ事業を実施 ・文化大使による寄席を実施(計4回) かめやま文化年プロジェクト推進委員会及び実行委員会を開催(計4回)			
	事業の計画・実績			
事業費	計画額	事業費 3,800千円	19,000千円	600千円
		国庫支出金		
		県支出金		
		地方債		
		その他		
予算額	事業費	3,600千円		
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
決算額	事業費	2,147千円		
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
人件費	一般財源	3,800千円	19,000千円	600千円
	総人件費	23,547千円	0千円	0千円
	一般職員	23,547千円	0千円	0千円
	所要人員	3.00		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		25,694千円	0千円	0千円
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	かめやま文化年2020の企画事業の参加者数(年間延べ人数)	計画値	27,000		
		かめやま文化年2017の企画事業の年間延べ参加者数(26,810人)以上を目標として設定	実績値			
			単位		人	
	名称	かめやま文化年プロジェクト推進委員会の開催回数	計画値	5	3	5
		事業計画の検討、事業実績の検証	実績値	4		
			単位	回	回	回
名称		計画値				
		実績値				
		単位				

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 より多くの人に参画してもらうため、かめやま文化年2020の実施計画を早急に決定するとともに、周知方法の検討および十分な周知期間を設けるなど工夫し、より多く人が文化にふれあう機会を増やし、文化交流を促進する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 早期からかめやま文化年プロジェクト推進委員会を2回開催し、文化年事業全体の企画立案、市民団体主体及び市関係部署との連携事業等の調整などを実施し、文化年2020年実施計画を策定した。また、引き続き、かめやま文化年2020プロジェクト実行委員会を2回開催し、文化年プレ事業として、市内中学校及び亀山高校にて「亀山市文化大使(林家菊丸師匠)による寄席」を計4回開催するなど、文化への興味を深めるとともに「かめやま文化年2020」への参画を促すPR活動を実施した。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 かめやま文化年プロジェクトの集大成となる「かめやま文化年2020」については、様々な人や団体が文化交流できる機会を増やすため、かめやま文化年プロジェクト推進委員会にて、文化年事業全体の企画立案、市民団体主体及び市関係部署との連携事業等の調整などを経て、令和元年12月に実施計画を策定し、実行委員会が主体となる8事業、市民団体等が主体となる20事業、市関係事業13事業を決定した。 また、文化年プレ事業として、市内中学校と亀山高校で、かめやま文化大使による「林家菊丸師匠による寄席」を開催し、文化への興味を深めるとともに「かめやま文化年2020」への参画を促すPR活動を実施した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 「かめやま文化年2020」は、「かがやく」をテーマとしており、今まで培った文化にさらに工夫を加え、様々な人や団体が自己表現による満足感を感じられるよう、テーマに沿った各種事業、イベント等について検討し、実施計画を策定した。 また、かめやま文化年2020アクションイヤーに向けて、文化年プレ事業等を実施することにより、様々な人や団体が文化に触れ、文化交流できる機会となるよう、亀山の文化を市民だけでなく、市外・県外へも情報発信し、気運を高めた。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 かめやま文化年2014での「みつめる」、2017での「つながる」で育まれた人や文化のつながりを、プロジェクトの集大成となる「かめやま文化年2020」のアクションイヤーへ向けて、実施計画に基づき様々な事業を集中的に実施していく必要がある。また、より多くの人に参画してもらい、亀山市の文化にふれてもらえるよう周知方法等を工夫し、積極的にPRする必要がある。	今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 かめやま文化年2020の各種事業等を周知する期間を長く設けるとともに、啓発物品の配布やSNS、メディアの活用等により、より多くの人に事業等に参画してもらえるよう、積極的にPRする。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 かめやま文化年2014での「みつめる」、2017での「つながる」で育まれた人や文化のつなげてきた亀山市の文化資源の価値をさらに高め、さまざまな人や団体が「自己実現」により、満足感や達成感を感じてもらうとともに、亀山市の文化振興を図り、文化交流の促進につなげる。	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	生活文化部 文化スポーツ課 文化共生グループリーダー 青山 有希
【最終評価者】	生活文化部 文化スポーツ課長 小森 達也

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A		
	成果	B	B	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		3,600 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	3,600 千円
	令和2年度への繰越額	千円